

関係者各位

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当法人の活動に対し、様々なご支援とご理解を賜りまして、厚く御礼申し上げます。昨年は年初来、新型コロナウイルスの影響により、活動の転換を余儀なくされ、オンラインツールなどを駆使して、コミュニケーションを図りながら活動を実施しております。

昨年8月には、NPO 法人 NPO サポートセンター主催による、「第3回 NPO による ICT サービス活用自慢大会」に際しまして、予選を勝ち抜き、ファイナリストに選定され、「新ツールチャレンジ賞」を受賞しました。当法人では、早くから ICT 活用促進への取り組みを実施しており、障害者支援団体運営に関するモデルケースになり得たのではないかと、僥倖ながら自負をしております。

また、患者会に関しては、患者さまやご家族による茶話会、高岡誠志会病院 麻酔科・痛み緩和診療部長 神谷和男先生を招いて実施いたしました。本年3月にはミワ内科クリニック院長 三羽邦久先生をお招きしての筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群に関する勉強会を開催予定となっております。

現在は、「元気とやま県民協働事業」に採択された「オンラインツールを使用した学生と創る『共生型まちづくり』」イベントを開催中です。本イベントは我々障害者と学生がオンラインツールを駆使して、富山市岩瀬のPRを商品開発して、まちづくりや地域の活性化を目指すものです。開発した商品につきましては、一般販売を目指して、鋭意取り組んでおります。本イベントは新しい取り組みであり、行政からの評価も高いものとなっております。

すべての事業・イベントは、線維筋痛症と筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群患者の皆さまの社会との接点の創出や社会参加を意図して実施しております。なかなか外出が困難な患者さまでも気持ちの上においては、前向きになれるよう創意工夫を凝らしております。

本年は、引き続き「医師の育成」と「就労」に関して、より一層焦点を当てて事業を遂行しながら、患者会を充実させていく所存であります。

末筆ではございますが、会員様、患者様、地域の皆様、私ども特定非営利活動法人えがおを支えてくださり、ご関心をお持ちのすべての皆様のご多幸とご健勝を祈念し、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

2020 年元旦

特定非営利活動法人えがお  
理事長 鳥井 謙祐